

# 環境金融

当行は、環境対応型金融商品・サービスの開発・提供等、「金融」の役割を通じてお客さまの環境への取り組みをサポートし、持続可能な地球環境づくりに努めています。これからも、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で「環境金融」を進めてまいります。

## エコ預金で琵琶湖の生物多様性を守る

ダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)でお預入れいただく「エコプラス定期」(2003年~)や、「ネット投信」の「電子交付サービス」(2013年~)をご利用いただくことによる紙資源削減相当額を当行が拠出し、滋賀県内の小・中学校へ「学校ビオトープ」づくりの資金として2016年度まで毎年助成。2017年度からはニゴロブナ・ワタカの放流資金として拠出しています。

お客さま	しがぎん	小・中学校、琵琶湖 等
<b>預けてよし</b> 金利がプラス 	<b>預かってよし</b> 紙使用量を削減 	<b>世間・環境によし</b> ビオトープづくり ニゴロブナ・ワタカの放流 

ビオトープ(2003~2016年度累計) **35件 1,679万円**を助成  
 ニゴロブナ・ワタカ(2007~2018年度累計) **63.5万匹**  
※2016年度までは「カーボンニュートラルローン未来よし」より拠出

## びわ湖環境ビジネスメッセ2018に出展

環境産業の育成振興を目的とした「びわ湖環境ビジネスメッセ2018」に出展。当行は、「SDGsで創る未来 - 地域とともに歩む『しがぎん』-」をテーマに、映像やクイズを用いて、貧困などの社会的課題について「身近な問題」として考えていただくきっかけづくりを行いました。当行の取り組みの展示も行い、3日間で約600名もの皆さまにご来場いただきました。



## SDGsビジネス・マッチングフェア 詳しくは、P3へ

## CSR委員会

CSR経営の中長期計画や毎年度の取組内容等を組織横断的に協議するため、頭取を委員長とする「CSR委員会」を年3回開催。CSR経営の一層の充実・強化を図っています。



地球温暖化防止 生物多様性保全



**持続可能な社会へ**  
 地域社会・地球環境との共存共栄

## 独自の環境格付で環境を守る

琵琶湖を中心とした地球環境保全を目的に「しがぎん琵琶湖原則 (PLB=Principles for Lake Biwa)」を独自に制定。ご賛同をいただいたお取引先に対し、ご希望がある場合は当行独自の「環境格付 (PLB格付)」を実施。環境経営の取り組み度合いについて、15の評価項目を3段階で評価します。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいています。

### しがぎん琵琶湖原則 (PLB) の3原則

<b>1</b> 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。	<b>2</b> 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。	<b>3</b> 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。
<b>① 賛同</b> 11,259件 <small>(事業先比60.3%)</small>	<b>② 格付</b> PLB格付 10,874先 <small>(事業先比58.2%)</small> PLB格付BD 5,953先 <small>(事業先比31.9%)</small>	<b>③ お借入</b> PLB資金実行件数 1,883件 PLB資金実行額 総額 371億円 <small>(2019年3月末実績)</small>

## 投資を通じて社会的課題解決に貢献

ESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGsに配慮した社会貢献型の債券などへの投資に取り組んでいます。

- ・JICA債「国際協力機構債券」
- ・「日本学生支援債券」
- ・「低炭素日本株ファンド」など

## 私募型グリーンボンド引受け 統合報告書/P35

